

# 化学工業日報で当社社長のインタビュー記事が掲載されました

2024年9月4日付けの化学工業日報新聞において、当社代表取締役社長 山田秀行 のインタビュー記事が掲載されました。

インタビューでは、経営での重視ポイント、新製品の開発戦略、川口工場における設備投資について述べています。

川口化学工業が事業機会の拡大に向けた手を打っている。主力のゴム薬品で新製品を開発し、川口工場（埼玉県川口市）で5・6億円を投じて設備投資を実施する。経営方針や開発戦略などを山田秀行社長に聞く。

□「足元の業績回復は、6%増の2億円と従来の予想（2024年11月上旬）を大幅上回って喜ばしい。2024年12月～25年5月には、自動車生産の緩やかな回復と経済利益が前年同期比35%を受けてゴム薬品が販売を

## 持続可能社会／化学総合

### 川口化学工業 山田 秀行 社長

# 「あえて絞り込まない」 戦略で事業機会つかむ

「継続的かつ安定的に利益を出すことを主眼に置いた。海外原料が値下がりしている。ゴム薬品という取組を継続した効果も出て、採算が改善した効果も出た。自動車の品質不正問題や中国の景気落ち込みなど外部環境の不透明感が強

く、過期見直しは従来の予想を高めることが、われわれの目標である。ただ新製品の育成には時間がかかる。しかもしれないが、数多く投資機会が訪れた時に投資できる体力を蓄える意味でも、毎年一定の利益を確保し、事業機会につながる可

能性が増える。このために「あえて絞り込まない」戦略を採っている」

「医薬品や化学品を納入する容器のゴム栓などに使う塩素化フチルゴム向けの加硫剤では、ゴムに弾性を付与する加硫の速度が従来の約2倍、ゴムの弾性も10～20%高められる新製品を開発した。ゴム製品メーカーの生産性や材料設計の自由度の向上に貢献できる。当社的主力製品になれらることを期待している。この分野の将来のテックトレンド（業界上の標準）にしたい」

□「川口工場での設備投資を完了させました。『マルチプラント』(多目的生産設備)の設備更新に

「供給力の不足による機会損失を防ぐ。顧客が欲しいタイミングで供給できる体制を整える」

「供給力の不足による機会損失を防ぐ。顧客が欲しいタイミングで供給できる体制を整える」